

## 地震火山こどもサマースクール9年、私たち374人の次世代に何が伝わったか Nine Years of Children's Summer School on Earthquakes and Volcanoes.

# 清水 芳恵 [1]; 坂元 優太 [2]; 小山 真人 [3]; 中川 和之 [4]

# Yoshie Shimizu[1]; Yuta Sakamoto[2]; Masato Koyama[3]; Kazuyuki Nakagawa[4]

[1] 日本女子大・住居; [2] 筑陽学園; [3] 静岡大・教育・総合科学; [4] 時事通信, 防災 Web

[1] Housing, Japan Women's Univ.; [2] Chikuyo Gakuen; [3] DIST, Education, Shizuoka Univ.; [4] Jiji Press

<http://sakuya.ed.shizuoka.ac.jp/kodomoss/>

日本地震学会と日本火山学会が、日本各地の地震や火山に関係する場所で、1999年からほぼ毎年、「地震火山こどもサマースクール」を開催し、これまでに10歳から18歳までの延べ374人が参加している。研究や実践の最前線にいる専門家が、子どもの視点で地震や火山のしくみや本質を直接語り、災害と不可分の関係にある自然の恵みを伝えることが目的だ。プログラムの進め方は、子どもたちの好奇心を刺激するゲームや実験、対話型で行われている。

火山のふもとに育った坂元、清水の2人は、このスクールに参加し、幼い頃から見えてきた有珠山や大島・三原山の目に見えない部分を学び、噴火から逃げるだけの火山防災でなく、火山と向き合って生きていこうと考えるようになった。昨年11月には、長崎県島原市で開かれた火山都市国際会議島原大会にも参加し、各国の火山防災教育の現状にも触れた。火山や地震の恐ろしさだけでなく、もたらす豊かさや科学的な面白さを知る次世代を育てるために、スタッフとして参画している2人が考える、地震や火山教育について報告する。